



庶民の会  
ほんだ まつひろ  
本多 松弘 議員

### 新型コロナウイルス感染症

**Q** 令和4年度予算の重要課題「アフターコロナ」の内容について、コロナで落ち込んだまちの元気を取り戻せる施政を。

**A** 「暮らしに寄り添い、未来へ繋ぐ」を重要テーマに感染症対応、雇用、事業継続支援、社会経済活動再開に向けた支援など実情に応じた事業を実施していきたい。

**Q** 経済対策と規制緩和について、支援事業の検証は。市内企業の状況を把握し、長いスパンで支援を考えてほしい。経済転換期は、遠くないので、しっかりと回復できるような取り組みを。

**A** 第2次事業継続支援給付金事業は369事業業者に支援金を給付、キャッシュレスポイント還元事業は、期間中の決済額が前年同期の4倍を超える約2億2千万円の経済効果。島原ふるさと特産品宅配事業は、一部商品の選定や事業実施時期について改善すべき点があった。

### 持続可能なまちづくり

**Q** 島原オルレコースの現状と今後の取り組みは。宿泊へつなげるためには、さらなる工夫、仕掛けが必要だと考えるが。

**A** 昨年11月に初のイベントを開催し、県内外から約100人が参加した。ジオの恵みを満喫できるツアーを造成し、交流人口の増加、滞在時間の延長へつなげていきたい。

### 持続可能な公共施設

**Q** 学校施設、公民館施設の配置や規模について、施設ごとではなく、機能別に捉えるのも有効だと考えるが。

**A** 今年度策定した「島原市立小・中学校の新しい学校の在り方」を基に、広く意見を聞き、統廃合について検討を進めていく。総合管理計画については、議員提案のように機能別にも望ましい在り方を研究していきたい。

### 【その他の質問項目】

- ◇医療機関の状況
- ◇商店街の活性化
- ◇堀部邸の運営
- ◇農林水産物・食品の需要創造
- ◇デジタル化（DX）
- ◇消防団の報酬改定と効果



平成会  
はまさき きよし  
濱崎 清志 議員

### コロナの状況と対応

**Q** 自宅療養者への対応は。

**A** 県南保健所が、健康状態の確認など、対応をしている。

**Q** 安心して自宅療養ができる制度をつくるべき。市に相談窓口を設置してどうか。

**A** 窓口の有無に関わらず、市に相談いただければ保健所と相談の上でできるサービスは可能。

**Q** 税の申告や支払猶予の対応は。

**A** 新型コロナウイルス感染症の影響で申告等が困難な方には令和4年4月15日まで申告期限を延長し、納期内の納付が困難な方には個別に納税相談を実施している。

### ケアラー（介護者）支援策

**Q** ケアラーの実態把握のために調査を実施すべきでは。

**A** 表面化しにくい部分もあるの

で、実情把握のため、ケアラーに関する認知度の向上と関係機関との情報共有をしていくことが早期発見、把握につながると思っている。

**Q** ヤングケアラーの実態は。

**A** 3名の児童・生徒が該当するとして県に報告。

**Q** ケアラー支援の条例を制定している県がある。本市でも支援対策の方針をつくるべきでは。

**A** 市長会等で同一行動ができないのか、提案する価値はある。

### 教育行政

**Q** 小・中学校適正規模適正配置に関する議論の進捗は。

**A** 「島原市立小・中学校の新しい学校の在り方」を策定。広く市民の意見を聞きながら統廃合の検討を進める。充実した教育活動の展開には一定規模の学校が必要。

**Q** 施政方針に「新たなプールの在り方について調査・研究」とあるが。

**A** 学校プールの廃止と併せて、水泳授業と、一般の方も健康増進の一環として利用できる新たなプールの建設について議論を進める。